

## 文部科学省「平成 19 年度生涯学習分野におけるNPO支援事業」概要

### (1) 団体等名

特定非営利活動法人 きらりネット都城

### (2) 事業のテーマ

社会人教育情報提供システムの構築

### (3) 事業の趣旨

本事業では社会人教育情報提供システムを構築することを目的とし、都城市教育委員会や宮崎大学教育研究・地域連携センターおよび都城市内各教育実施機関と連携して、教育実施機関のネットワークづくりや効率的な情報提供システムづくりなどに取り組む。

本事業を実施することにより「都城市社会人教育情報提供システム（仮称）」を来年度開始することができ、都城市民のための社会人教育の情報が一元化され、学習者それぞれが目標を持ち、生涯を通じて生き生きと学習に取り組むことが可能になる。

### (4) 計画内容

1. ライフステージに応じた新しい社会人教育体系の作成
2. 教育実施機関の開拓とネットワークづくり
3. 学習情報の一元化と広報システムづくり
4. 学習者の目標設定や達成感を満足させるしかけづくり
5. 市民を対象としたフォーラムの開催

### (5) 行政や他のNPO、民間教育事業者と連携するにあたっての課題や問題点

NPO法人きらりネット都城は「よか・余暇・楽習ネットワーク事業」を展開してきたが、学習分野は趣味の領域が多く、多様化した市民のニーズに応えられない課題を抱えている。

都城市内では多くの社会人教育が行われているが、それぞれがバラバラに企画開催されており広報の方法も異なるため市民にとっては不便である。また、しっかりした社会人教育体系が確立されていないので都城市においてどの分野の教育が不足しているのかわからない。

### (6) 事業の目標とする成果・効果

都城市および地域の教育機関や民間団体と連携し、新しい時代にふさわしい学習システムを構築し「都城市社会人教育情報提供システム（仮称）」という形で市民に提供することにより、地域で提供される社会人教育の整理・体系化が図れ、情報の一元化と広報体制が整い、市民の学習に対する利便性が高まる。

### (7) 本事業で実施した取組の定着に向けた方策

本事業で構築した新しい時代にふさわしい生涯学習システムは「都城市社会人教育情報提供システム（仮称）」という形で平成 20 年 4 月から市民に提供する。運営にはNPO法人きらりネット都城が当たり開発した生涯学習システムの定着と普及を図る。

### (8) 行政や他のNPO、民間教育事業者と連携した取組を行ったこれまでの実績

平成 5 年から都城市と協働で「よか・余暇・楽習ネットワーク」事業に取り組み、市民の生涯学習の一翼を担ってきた。同事業は都城市教育委員会が認定した「生涯学習ボランティア指導者」と学びたい市民のグループを結びつける事業である。平成 5 年度～18 年度の延べ学習者は 2,820 グループ、22,439 名である。